

「結の里」

～地域に根付きともに地域復興を目指す商業施設～

＜設計主旨＞

地域の災害復興の中心となる商業施設は、単なる商業活動の場ではなく、地域住民の絆を深め、復興支援を行う拠点とならないといけない。施設は、耐震性や防災機能を強化し、災害時には避難所としても利用する。また、非常用電源や水供給システム、物資保管庫を設け、災害時でも安心できる環境作りを心掛けた。そして、広場や多目的ホールを設置し、市民活動やボランティア活動の場としても提供できる。また、駐車場にキャンプ施設を設け、大空間を無駄なく利用します。

持続可能な社会を目指し、太陽光発電や雨水回収システムを導入。環境への負荷を最小限に抑え、地域のエコ意識を高めた。商業スペースには地元産品や工芸品を取り扱うショップを設け、地域経済の復興を支援。また、地域特産品を使った飲食店やカフェを併設し、観光客や地元住民の交流を促進する。

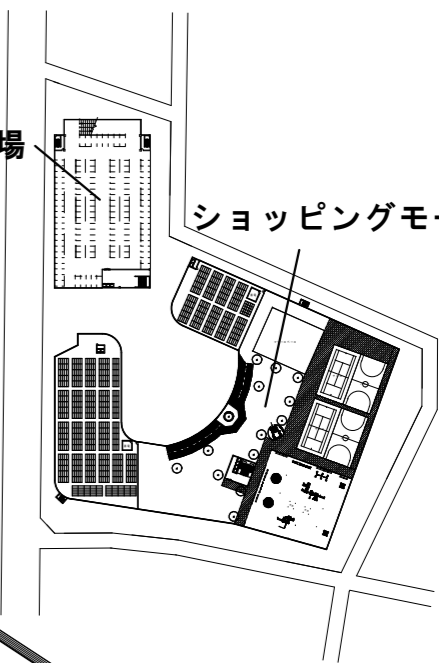


■建設予定地

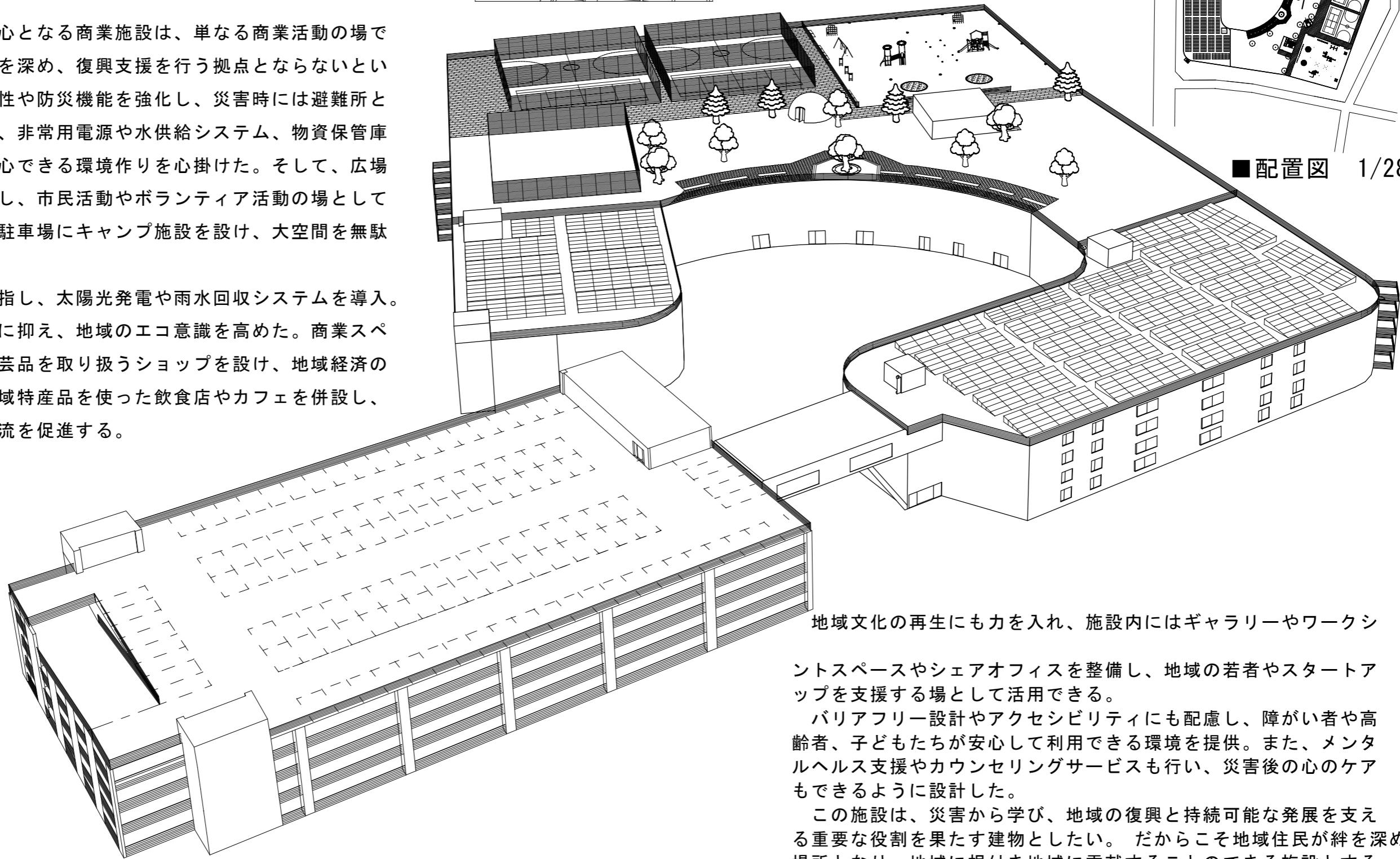
住所. 愛媛県松山市大可賀2丁目1-28

駐車場

ショッピングモール



■配置図 1/2800

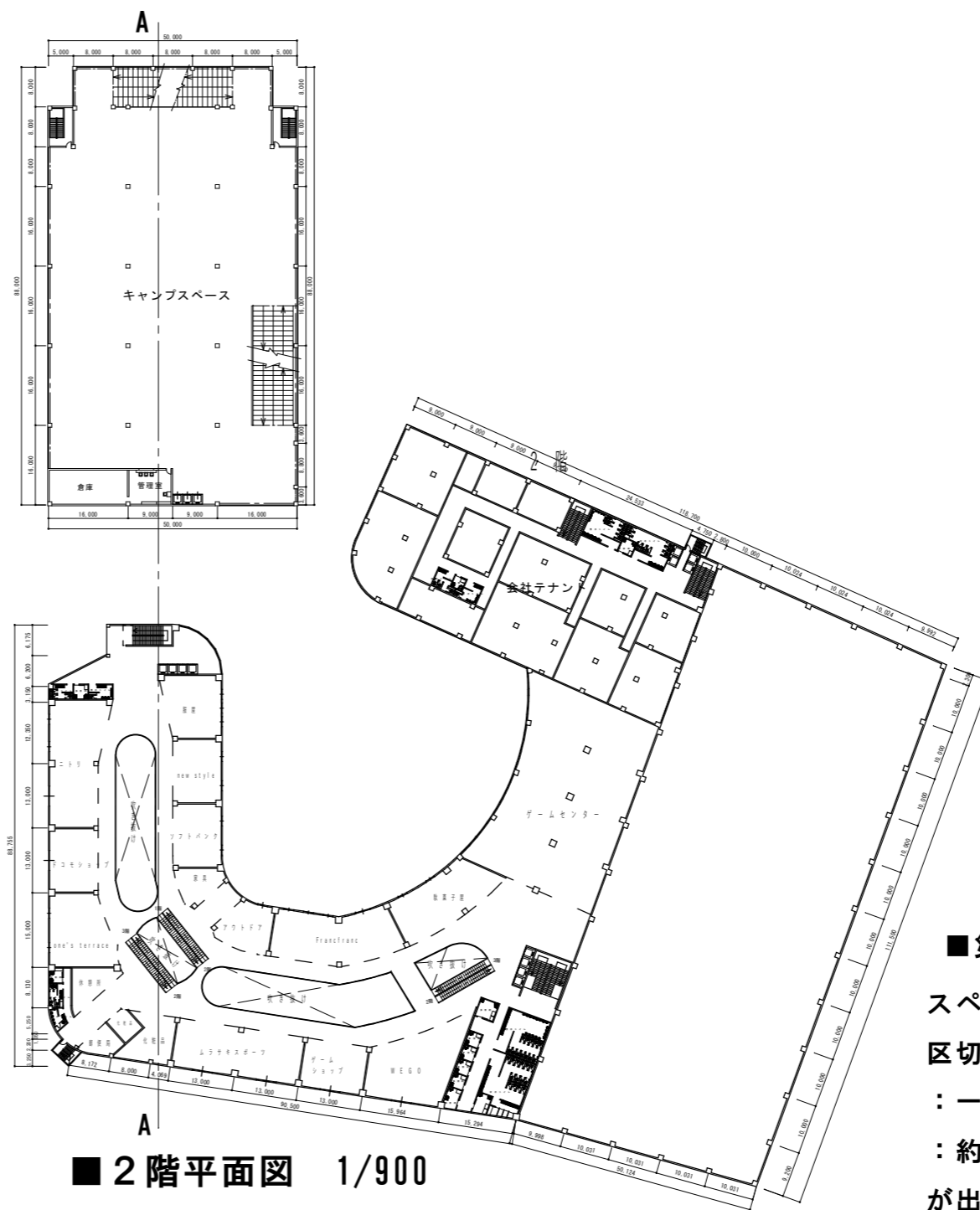
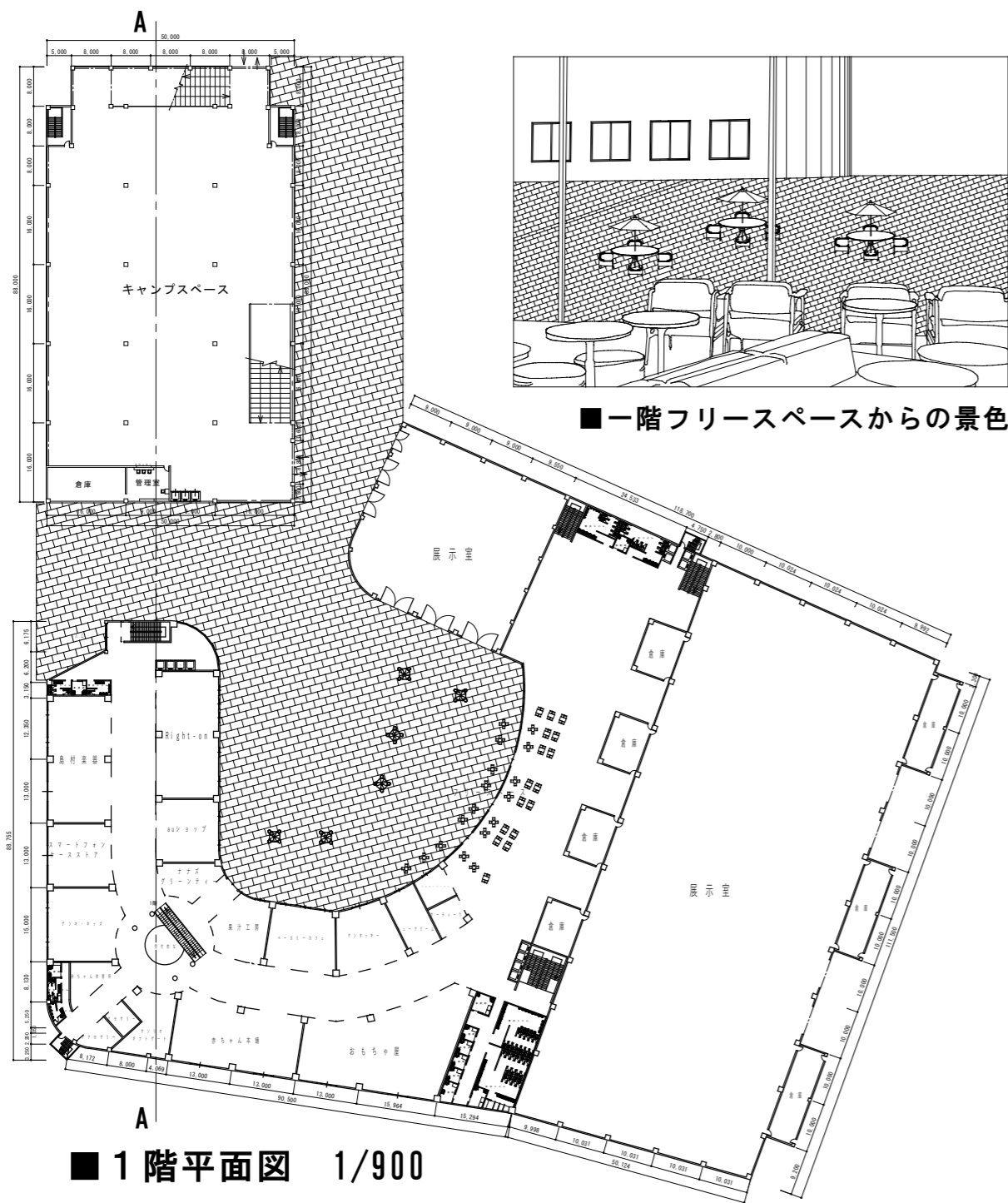


地域文化の再生にも力を入れ、施設内にはギャラリーやワークシ

ントスペースやシェアオフィスを整備し、地域の若者やスタートアップを支援する場として活用できる。

バリアフリー設計やアクセシビリティにも配慮し、障がい者や高齢者、子どもたちが安心して利用できる環境を提供。また、メンタルヘルス支援やカウンセリングサービスも行い、災害後の心のケアもできるように設計した。

この施設は、災害から学び、地域の復興と持続可能な発展を支える重要な役割を果たす建物としたい。だからこそ地域住民が絆を深める場所となり、地域に根付き地域に貢献することのできる施設とする。



■会社テナント

貿易関連団体や企業が愛媛でのビジネスの足がかりとする賃貸型のビジネスオフィス。会議室・展示室にも隣接し、空港・港にも近いいため海外・県外からのアクセスにとっても便利。

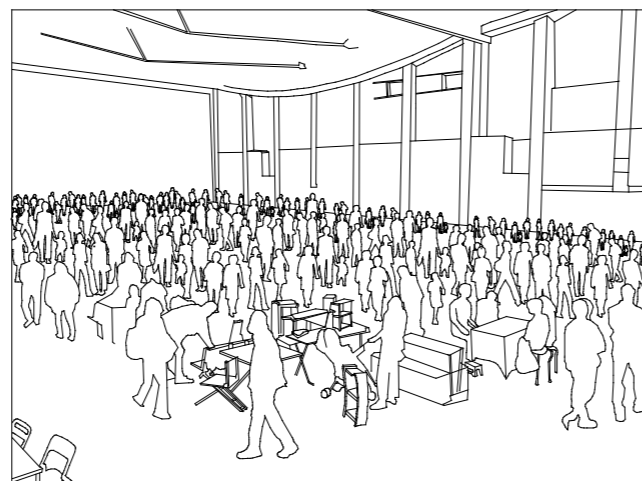
災害時に使用する用具や備品などを倉庫に収納しておく。

■災害時避難スペース

スペースを1世帯ごとに段ボールで区切り、個人のスペースを提供。
 : 一世帯当たり 10㎡
 : 約500世帯の人が避難することが出来る。

■展示室

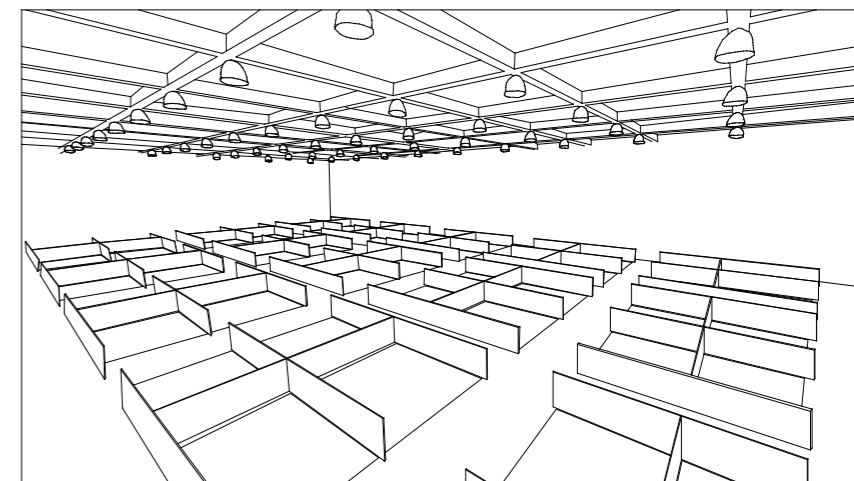
ここは、普段はイベントスペースとして使用し、地域の人々が触れ合う場として様々なイベントを行う。そして、災害時には地域の人々が避難し生活するスペースとして使用し、災害時の復興の中心となる場所とする

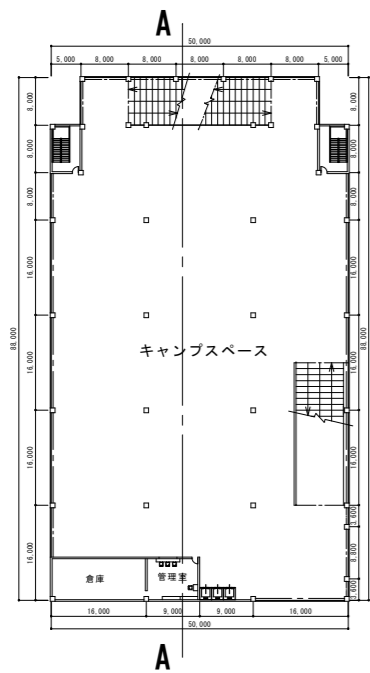


◁ イベント開催時

イベント内容

- ・マイナビ就職セミナー
- ・えひめハンドメイド&雑貨フェア
- ・輸入車ショウ
- ・科学の遊園地
- ・お仕事体験
- ・まつやま環境フェア
- ・マイホームフェスタ





■ 3階平面図 1/900

■ キャンプスペース

駐車場：1～3F

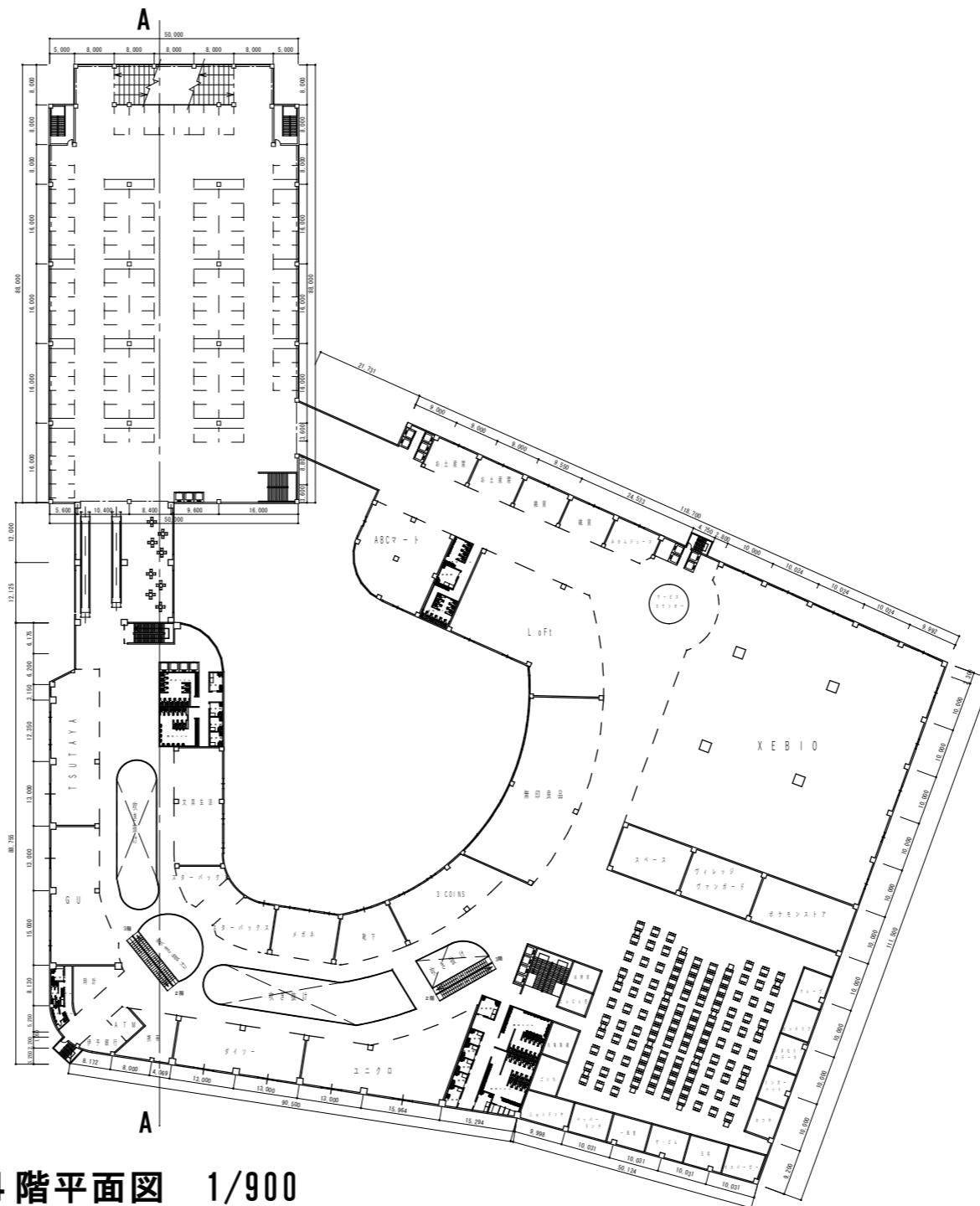
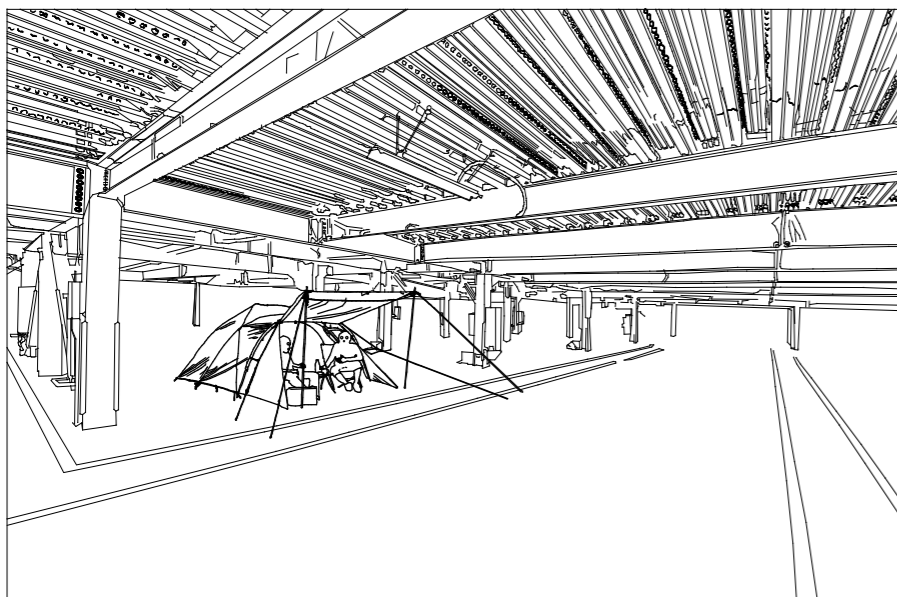
完全予約制のキャンプ場

区画ごとに仕切って使用

場内共有設備・フリーテントサイト・常設テント

レンタル可能用品・テント・タープ・シュラフ

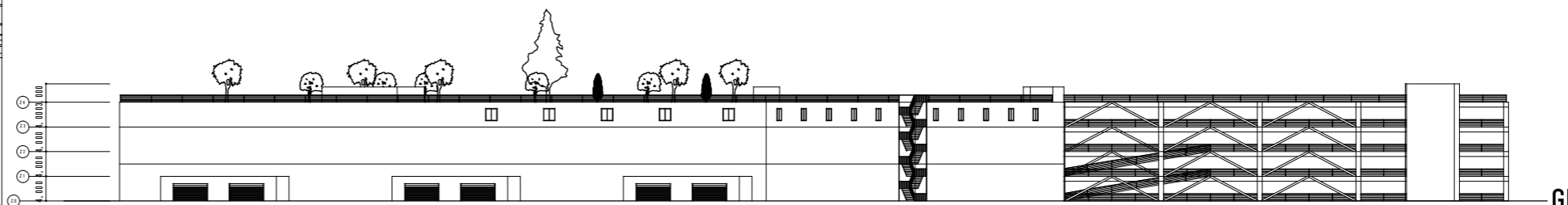
テントスペース：イメージ図（二人用）



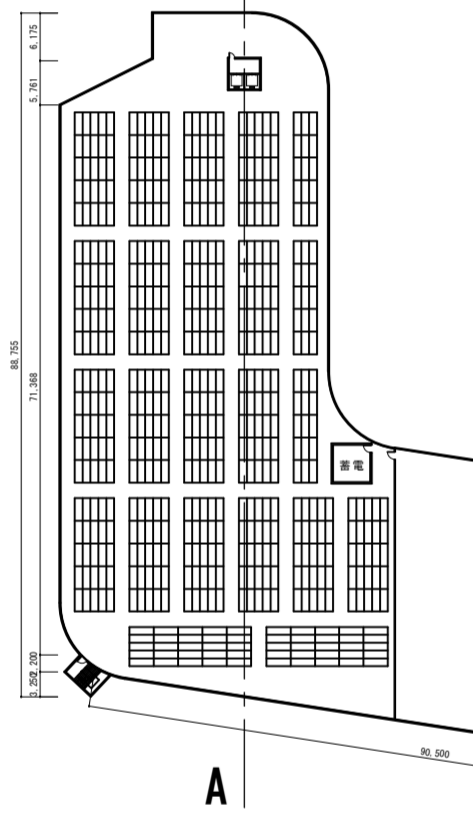
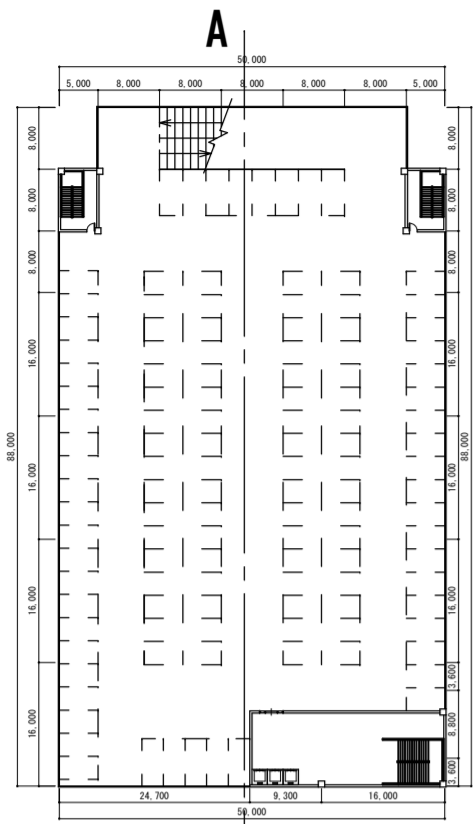
■ 4階平面図 1/900

■ 販売スペース

販売スペースには地元産品や工芸品を取り扱う店を設け、訪れた人が地域に興味を持ってくれるようにする。また、地域の特産品や地元産の食材を多く使用する飲食店やカフェを併設することによって、地元の農家さんを支援し、観光客や地元住民が交流出来るような体験スペースを設けることで交流を促進する。フードコートを設けることで地域の団らんの場となるようにし、災害時には、避難した人たちと一緒に食事を行う場所とし、心から温まること出来る場所となる。



■ 東側立面図 1/700



■屋上平面図 1/900



■公園

地域の子供たちが全力で遊ぶことができるよう公園を作った。災害時には、体を動かすことによって運動不足を解消し、体と心の健康を保つことができるようにする。



■ソーラーパネル

災害時には電力が必要になる。なので、屋上部分にソーラーパネルを設置した。普段は、発電した電力を商業施設で使用する。災害時には、復旧活動などに使用することができるようにする。

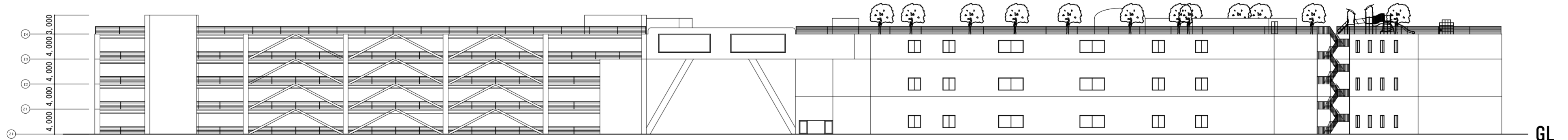
■運動エリア

バスケットボールコートとテニスコート、フリースペースを設け、ボールを使った遊びができるようにした。最近ではボールを使えない公園が多くなってきているので、子供たちが楽しくボールを使って遊ぶことができるようにした。

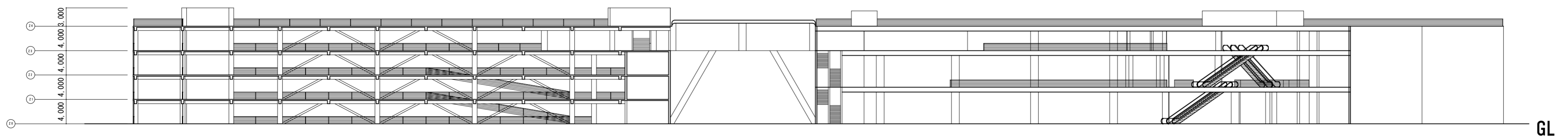


■屋上庭園

屋上を緑化することによって、普段から自然に触れることができるようにし、災害時には、癒しの空間として心の健康を守ります。



■西側立面図 1/500



■A-A断面図 1/500